



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 本部長 (氏名) 富士谷 典彦 TEL 03 (5210) 2080  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,798	7.0	231	35.2	229	32.8	149	33.2
2020年3月期第3四半期	3,549	54.5	171	37.2	172	39.4	112	19.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 149百万円 (33.6%) 2020年3月期第3四半期 111百万円 (19.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	21.64	21.49
2020年3月期第3四半期	16.80	16.66

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,339	1,403	59.8
2020年3月期	2,089	1,246	59.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,398百万円 2020年3月期 1,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	5,632	15.5	428	33.3	432	33.8	287	28.3	円 銭 41.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 (社名) 株式会社アール・エス・アール  
(注) 詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	7,150,000株	2020年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	229,310株	2020年3月期	234,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	6,917,949株	2020年3月期3Q	6,688,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料及び説明動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた経済活動自粛などの影響による景気の急速な悪化に伴い、依然として先行きが不透明な状況にあります。当社グループにおきましても新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先に考え、可能な限りの在宅勤務の推奨や、感染予防のための衛生用品や検査器具の配布、またオンライン懇親会補助等従業員のストレス解消を促進する施策を行っております。

当社グループが属する情報サービス業界は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う社会環境の変化により、顧客企業の戦略的IT投資の見直しや先送りなど、慎重な動きがみられる一方で、社会全体の新たな生活様式やビジネス形態としてリモートワークやクラウド環境の導入、IoT、AI、5Gなどのデジタルトランスフォーメーション(DX)に関連するIT投資を積極的に行う企業も増加しているなど二極化が進んでおります。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテストサービスにおきましては、情報サービス市場の拡大と、ソフトウェア品質やセキュリティ意識の高まりにより着実に成長してきております。一方で、エンジニアの不足が顕在化しており、高度なスキルを有するエンジニアの確保が重要な課題となっておりますが、当社グループでは、適性のある業界未経験者を短期間でエンジニアとして戦力化する教育ノウハウと十分な研修体制を有しており、採用と教育とを一体化した戦略によりこの問題を対処してきております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,798,511千円(前年同期比7.0%増)と堅調に拡大いたしました。増収となった影響を受け、営業利益231,665千円(同35.2%増)、経常利益229,615千円(同32.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益149,698千円(同33.2%増)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う案件の先送りや規模縮小の影響が一部では見られましたが、当事業の主力であるエンタープライズ領域における新規顧客の増加、既存顧客との取引拡大が継続していることや、ITサービス企業向けの売上が伸張したことなどにより、外部顧客に対する売上高は3,471,895千円(前年同期比7.6%増)と堅調に推移し、セグメント利益は260,707千円(同30.7%増)となりました。

#### ②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、セキュリティ・脆弱性診断に係る売上が前期から堅調に推移していることに加え、株式会社アール・エス・アールを新規連結したことなどにより、外部顧客に対する売上高は317,283千円(前年同期比6.0%増)となりました。利益につきましては、一部の請負案件で採算が悪化したことなどにより、セグメント利益は30,804千円(同9.2%減)となりました。

#### ③オフショアサービス事業

当事業においては、フィリピンにて新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンが2020年3月中旬より継続されておりますが、在宅勤務環境の整備などに注力した結果、同年8月以降はほぼ通常通りの営業活動を行っております。外部顧客に対する売上高は9,332千円(前年同期比58.5%減)、案件の採算が改善したことによりセグメント利益は988千円(前年同四半期は12,873千円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,853,208千円となり、前連結会計年度末に比べ107,102千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加113,191千円によるものであります。固定資産は486,097千円となり、前連結会計年度末に比べ142,211千円増加いたしました。これは主に無形固定資産の増加164,630千円によるものであります。

この結果、総資産は2,339,306千円となり、前連結会計年度末に比べ249,314千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は843,912千円となり、前連結会計年度末に比べ12,196千円増加いたしました。固定負債は92,295千円となり、前連結会計年度末に比べ80,653千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加83,848千円によるものであります。

この結果、負債合計は936,207千円となり、前連結会計年度末に比べ92,850千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,403,098千円となり、前連結会計年度末に比べ156,464千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益149,698千円の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は59.8%（前連結会計年度末は59.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	996,456	1,109,647
受取手形及び売掛金	690,857	635,662
電子記録債権	9,255	18,335
仕掛品	6,063	8,761
その他	43,472	80,801
流動資産合計	1,746,105	1,853,208
固定資産		
有形固定資産	119,274	108,397
無形固定資産		
のれん	—	70,010
その他	28,070	122,690
無形固定資産合計	28,070	192,700
投資その他の資産		
繰延税金資産	119,524	103,519
その他	77,017	81,480
投資その他の資産合計	196,541	184,999
固定資産合計	343,886	486,097
資産合計	2,089,992	2,339,306
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	125,755	80,475
短期借入金	94,000	128,000
1年内返済予定の長期借入金	19,935	24,611
未払金	263,541	331,774
未払法人税等	69,880	15,314
賞与引当金	104,070	66,065
受注損失引当金	—	1,237
その他	154,534	196,435
流動負債合計	831,716	843,912
固定負債		
長期借入金	—	83,848
退職給付に係る負債	—	43
その他	11,641	8,404
固定負債合計	11,641	92,295
負債合計	843,357	936,207
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	752,719	755,896
利益剰余金	407,511	557,210
自己株式	△5,292	△5,395
株主資本合計	1,244,938	1,397,710
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,696	1,189
その他の包括利益累計額合計	1,696	1,189
新株予約権	—	4,199
純資産合計	1,246,634	1,403,098
負債純資産合計	2,089,992	2,339,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,549,869	3,798,511
売上原価	2,594,111	2,789,520
売上総利益	955,758	1,008,990
販売費及び一般管理費	784,412	777,325
営業利益	171,346	231,665
営業外収益		
受取利息	7	10
助成金収入	5,645	3,113
為替差益	1,093	417
その他	185	1,005
営業外収益合計	6,932	4,545
営業外費用		
支払利息	739	905
支払保証料	1,071	426
株式交付費	3,553	—
新株予約権発行費	—	5,264
営業外費用合計	5,364	6,595
経常利益	172,914	229,615
税金等調整前四半期純利益	172,914	229,615
法人税、住民税及び事業税	37,271	62,464
法人税等調整額	23,274	17,452
法人税等合計	60,546	79,916
四半期純利益	112,367	149,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,367	149,698

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	112,367	149,698
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△727	△506
その他の包括利益合計	△727	△506
四半期包括利益	111,640	149,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,640	149,191
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社アール・エス・アールの株式の全てを取得したため、連結の範囲に含めております。なお、株式会社アール・エス・アールは当社の特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第3四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表の作成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響が、翌連結会計期間以降徐々に収束へ向かうと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束が遅延し、想定を超える需要への影響が生じた場合には、当連結会計年度における当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,228,034	299,354	22,481	3,549,869	—	3,549,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,226	33,083	11,204	50,514	△50,514	—
計	3,234,261	332,437	33,685	3,600,384	△50,514	3,549,869
セグメント利益又は損失(△)	199,441	33,936	△12,873	220,504	△49,157	171,346

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△49,157千円は、セグメント間未実現利益の調整額等42千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△49,200千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,471,895	317,283	9,332	3,798,511	—	3,798,511
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,917	63,572	27,060	94,550	△94,550	—
計	3,475,813	380,856	36,392	3,893,062	△94,550	3,798,511
セグメント利益	260,707	30,804	988	292,500	△60,835	231,665

(注)1. セグメント利益の調整額△60,835千円は、セグメント間未実現利益の調整額等△10,435千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△50,400千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、株式会社アール・エス・アールの株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末のWeb/モバイルアプリ開発サービスセグメントのセグメント資産が215,572千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社アール・エス・アールの株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、当第3四半期連結累計期間においてWeb/モバイルアプリ開発サービスセグメントののれんが70,010千円増加しております。